

市長 2020年に開催されるはずのオリンピックが1年延期になりました。南里選手ご自身は延期が決まったときのご心情はいかがでしたか。

南里 最初は、残念な気持ちもありましたが、私は世界大会などでも30位ぐらいなので、逆に延期によって勝てるチャンス、練習ができるチャンスが広がったなと思っています。

市長 1年延期になったオリンピックと同じ年の開催になるのが三重とこわか国体です。新型コロナウイルスの感染拡大後、初めて国体が開催されるわけですが、その会場となる津の海で初めてセーリングをされたのはいつ頃でしょうか。

南里 津市では大会などがたくさん開かれていて、高校の時のミッドウィンターという寒くて雪が降るような大会が初めてでした(笑)。ただ、風はすごく良かったことを覚えています。

市長 津の海は選手から見るとどんな風なのか、どんな波なのか特徴を教えてくださいませんか。

南里 いろいろなコンディションがあります。夏場は風が沖から来るので風向きは安定していて波が強く、冬場は陸から建物や山の影響ですごく風向きが変わりやすく強い風が来ますが、陸風なので波もなく乗りやすいですね。

市長 ここではどのようなトレーニングをなさっていますか。

南里 3時間ぐらい1人で海に出て帆走したり自分で打ったマークを回って練習したり、陸上ではサオリーナのトレーニング施設を利用したりと、三重県ではほとんど1人で活動しているようなかたちになります。

市長 津ヨットハーバーは昭和50年の国体、平成元年の470級の世界選手権など大きな大会の会場となりました。選手たちに愛され活用され、地域の皆さまにも憩いの場として親しんでいただきながら、この度、伊勢湾海洋スポーツセンターも前回の国体から46年ぶりにリニューアルして、もう一度国体を迎えることになりました。南里選手は三重県代表としてすでに2016年の岩手国体で優勝され、来年は本拠地での優勝に向けて期待も大きくなると思いますが、三重とこわか国体に向けての意気込みはいかがでしょう。

南里 もう自分の中で国体で優勝するということは決まっています。優勝に向けて改善を重ねながらやるべきことをやって、県民の皆さんに見せられるような良いレースにしたいです。

市長 東京2020オリンピックセーリング競技男子レーザー級は7月25日から8月1日まで、神奈川県藤沢市の江の島ヨットハーバーで、三重と



写真提供 日本セーリング連盟

こわか国体セーリング競技は津のヨットハーバーで9月26日から29日まで4日間開催されます。わずか2カ月の間に、南里選手の勇姿が2度見られるということですね。最後に、これからの目標などをお聞かせください。

南里 オリンピック延期の理由となった新型コロナウイルス感染症の影響で今は社会全体が落ち込んでいる状態です。その中で私たちは競技をさせてもらっていますが、それにどうやって恩返しができるのかということ、やっぱり競技している姿を見て元気になってもらえるようなことをすることだと思っています。オリンピックも国体も両方良い状態で臨み、国体に関しては優勝を、オリンピックも同様のことを目指して頑張っていますので、皆さんに元気になってもらえたら良いなと思っています。

市長 2021年の南里研二選手が活躍なさり素晴らしい年となるよう、皆さまとともにこのセーリング競技レーザー級を応援させていただきたいと思います。

自国開催の五輪
地元開催の国体
ご活躍を
期待しています



津市長
前葉泰幸
MAEBA YASUYUKI



市長対談の全編がご覧いただけます!
MAYOR'S TV SHOW

- ◆ 津市ホームページ 津市 市長対談 検索
- ◆ ケーブルテレビ行政情報番組(123ch)

